

令和3年度 専攻科学生募集要項 入学案内



選 抜 区 分	出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表 日
推薦による選抜	令和2年4月27日(月) ～5月7日(木)	令和2年5月16日(土)	令和2年5月22日(金)
学力検査による選抜	令和2年11月12日(木) ～11月17日(火)	令和2年12月12日(土)	令和2年12月18日(金)
社会人特別選抜			

独立行政法人 国立高等専門学校機構
米子工業高等専門学校
専攻科

National Institute of Technology, Yonago College
Advanced Engineering Course

学生課

〒683-8502 鳥取県米子市彦名町 4448
電話 0859-24-5021
FAX 0859-24-5029
ホームページ <https://www.yonago-k.ac.jp/>

目 次

専攻科学生募集要項

I	アドミッションポリシー	1
II	募集人員	1
III	選抜方法	1
IV	推薦による選抜	
1	出願資格	2
2	選抜の実施方法	2
3	出願手続	2～4
4	受検上及び修学上特別な配慮を必要とする入学志願者の事前相談 について	4
5	合格者の発表	4
6	入学確約書の提出	4
7	「推薦による選抜」に合格しなかった者の取り扱い	4
V	学力検査による選抜	
1	出願資格	5
2	選抜の実施方法	5～6
3	出願手続	6～8
4	受検上及び修学上特別な配慮を必要とする入学志願者の事前相談 について	8
5	合格者の発表	8
6	入学確約書の提出	8
VI	社会人特別選抜	
1	出願資格	9
2	選抜の実施方法	9
3	出願手続	9～10
4	受検上及び修学上特別な配慮を必要とする入学志願者の事前相談 について	10
5	合格者の発表	11
6	入学確約書の提出	11
VII	個人情報保護について	11

入学案内

I	専攻科概要	12～15
II	専攻紹介	16
III	教育プログラム	16～17
IV	入学に伴う学費等	17
V	奨学金制度	17
VI	入学料・授業料免除制度	17
VII	学生寮	17～18

出願書類

この募集要項の巻末に、出願に必要な次の書類を添付しています。

- 入学願書
- 受検票、写真票、振込受付証明書提出票
- 推薦書
- 調査書
- 志願調査書
- 事前相談について
- 出願承諾書
- 入学検定料振込依頼書

専攻科学生募集要項

I アドミッションポリシー

本校の入学者に期待される人物像は、次のとおりです。

- 1 基本的知識を有し、さらに高度な専門知識を学びたい人
- 2 主体的に物事に取り組み、解決しようとする意欲のある人
- 3 学んだ技術を生かして社会に貢献する意欲のある人
- 4 他の人と協調しながら物事に取り組める人

II 募集する専攻及び入学定員

専攻	入学定員
生産システム工学専攻	12名
物質工学専攻	4名
建築学専攻	4名

III 選抜方法

入学者の選抜は、「推薦による選抜」、「学力検査による選抜」及び「社会人特別選抜」により、次の日程で実施します。

選抜区分	出願期間	選抜期日	合格発表日
推薦による選抜	令和2年4月27日(月) ～5月7日(木)	令和2年5月16日(土)	令和2年5月22日(金)
学力検査による選抜	令和2年11月12日(木) ～11月17日(火)	令和2年12月12日(土)	令和2年12月18日(金)
社会人特別選抜			

IV 推薦による選抜

1 出願資格

令和3年3月に高等専門学校を卒業見込みの者で、在学する学校長が学業成績、人物ともに優れていると認めた者

ただし、出願後に本校専攻科の学生となるものとして相応しくない行為が発覚した場合は、入学許可を取り消すことがあります。

2 選抜の実施方法

入学者の選抜は、面接検査、成績証明書の記載内容（学業成績係数）及び出願書類の内容を総合して判定します。

出願書類(成績証明書)に記載された本科4年次の学年末成績を下表から評価ポイントに換算し、計算式に当てはめ「学業成績係数」を算出します。

区分	成績評価			
4段階評価 (パターン1)	—	優	良	可
4段階評価 (パターン2)	—	A	B	C
4段階評価 (パターン3)	—	100～80点	79～70点	69～60点
5段階評価 (パターン4)	S	A	B	C
5段階評価 (パターン5)	A	B	C	D
5段階評価 (パターン6)	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点
評価ポイント	3	3	2	1

(計算式)

$$\text{学業成績係数} = \frac{(\text{評価ポイント3の単位数} \times 3) + (\text{評価ポイント2の単位数} \times 2) + (\text{評価ポイント1の単位数} \times 1)}{\text{総履修単位数 (「不可」の単位数を含まない)}}$$

面接検査	(1) 日時 令和2年5月16日(土) 午前9時30分から (2) 場所 米子工業高等専門学校 (鳥取県米子市彦名町4448)
------	--

※ 受検上の注意事項

- ・検査当日は、午前9時00分までに集合してください。
- ・受検票を持参してください。

3 出願手続

(1) 受付期間 令和2年4月27日(月)から5月7日(木)まで(土日、祝日は除く)
午前9時から午後5時まで

※ 郵送の場合も、5月7日(木)午後5時必着とします。

(2) 受付場所 米子工業高等専門学校 学生課
〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448

(3) 出願書類等

志願者は、次の書類等を整え、提出してください。

出願書類等	摘 要
① 入学願書	本校所定の用紙に、必要事項を記入したもの
② 受検票	本校所定の用紙に、必要事項を記入したもの
③ 写真票	本校所定の用紙に、必要事項を記入し、所定の位置に写真を貼付したもの
④ 振込受付証明書提出票	<p>入学検定料 16,500 円 振込受付期間 令和2年4月20日(月)～令和2年5月7日(木)</p> <p>銀行からの振込みの場合</p> <ul style="list-style-type: none">本校所定の入学検定料振込依頼書により、志願者本人の名義で金融機関(銀行)の窓口から振り込んでください。ATM(現金自動預払機)からの振込みはしないでください。取扱金融機関取納印を押した振込受付証明書を必ず受け取り、振込受付証明書提出票の所定の位置に貼り付けてください。 <p>郵便局(ゆうちょ銀行)からの振込みの場合</p> <ul style="list-style-type: none">ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込みは、口座からのみ可能で現金による振込みは出来ません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』が必要です。ATM(現金自動預払機)からの振込みはしないでください。ゆうちょ銀行からの振込みは、募集要項に添付されている本校所定の振込依頼書を使用することは出来ません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、志願者本人の名義で次のとおり振り込んでください。 金融機関名： 山陰合同銀行 米子支店 預金種目： 普通 口座番号：3658000 受取人フリガナ： ドク)コクリツコウトウセンモンガッコウキコウ ホンブスイトウメイレイヤクジムキョクチョウ 受取人名まえ： 独立行政法人国立高等専門学校機構本部 出納命令役事務局長 <p>・振込後は「振込依頼書(お客さま控)」を受領し、原本を振込受付証明書提出票の所定の位置に貼り付けてください。(お客さま控えが必要な場合は、コピーをお手元に保管ください。)</p> <p>※いずれの振込みも、振込時に必要な手数料は志願者本人の負担となります。</p> <p>検定料の免除について</p> <ul style="list-style-type: none">令和2年度に、災害救助法の適用を受ける災害に被災し、居住する家屋が被害を受けた場合に、申請により検定料の免除を行える場合があります。該当される方は、検定料を振込む前に学生課(Tel.0859-24-5021)までお問い合わせください。
⑤ 推薦書	本校所定の用紙により、在学する高等専門学校長が作成したもの
⑥ 調査書	本校所定の用紙により、在学する高等専門学校長が作成したもの
⑦ 志願調査書	本校所定の用紙により作成したもの
⑧ 卒業見込証明書	在学する高等専門学校長の発行したもの
⑨ 受検票の返信用封筒	受検票の郵送を希望する場合に、各自で準備して提出してください。 提出する返信用封筒は、定型封筒(長形3号)に郵便番号及びあて名を記入し、374円(速達料を含む)の切手を貼ってください。

出願上の留意事項

- ア 郵送での出願は、必ず「書留郵便」とし、封筒の表に「出願書類在中」と朱書きしてください。
- イ 出願書類で必要事項の未記入など、不備なものは受け付けません。記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を二重線で抹消し、押印のうえ、訂正事項を記入してください。
- ウ 願書提出後は、受理した出願書類は返還しません。
- エ 出願書類の記載事項と相違の事実が判明した場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- オ 受理した検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- (1) 検定料を払い込んだが、出願しなかった
- (2) 検定料を誤って二重に振り込んだ

※ 返還請求手続は、令和2年5月21日（木）までに次の方法で行ってください。

返還請求の方法

- ① 返還請求の理由、②氏名（ふりがな）、③現住所、④連絡先電話番号、⑤返還先の口座の金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義（フリガナ）を明記した検定料返還請求願（様式は問わない）を作成し、必ず振込金領収書を添付して、次の送付先に速やかに郵送してください。返還には、検定料返還請求願を受理した後、約2～3ヶ月程度の期間を要します。なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担となります。

送付先 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町 4448
米子工業高等専門学校 総務課財務係

4 受検上及び修学上特別な配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

障がいがある者等、受検上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、令和2年4月15日（水）までに「事前相談について」（添付の様式参照）を、米子工業高等専門学校学生課へ提出し、相談してください。

なお、本校が必要と認める場合には、本校において、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

5 合格者の発表

令和2年5月22日（金）午前10時に、合格者の受検番号を本校で掲示発表するとともに、合格者に合格通知書を送付します。（電話等による可否の問い合わせには応じません。）

また、合格発表の日から1週間、本校ホームページ（<https://www.yonago-k.ac.jp/>）にも、合格者の受検番号を掲載します。

6 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書（合格通知に同封します）」を次のとおり提出してください。なお、期限までに提出しない者は、本校への入学の意志がない者として取り扱います。

提出期限	令和2年5月29日（金）（郵送の場合も期限までに必着とします。）
提出場所	米子工業高等専門学校 学生課 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町 4448

7 「推薦による選抜」に合格しなかった者の取り扱い

「推薦による選抜」の結果、合格とならなかった者で、「V 学力検査による選抜」の受検を希望する者は、「V 学力検査による選抜」に定めるところにより、改めて出願の手続きを行ってください。なお、この際は、「調査書」の提出は要しませんが、検定料は必要です。

V 学力検査による選抜

1 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等専門学校を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者
- (2) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専攻科の課程を修了した者のうち学校教育法第58条の2（同法第70条第1項及び第82条において準用する場合を含む。）の規定により大学に編入学することができる者及び令和3年3月までに同要件を満たす者
- (3) 短期大学を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者
- (4) 専修学校の専門課程を修了した者のうち大学に編入学することができる者及び令和3年3月までに同要件を満たす者
- (5) 外国の学校教育における14年の課程を修了した者及び令和3年3月までに同要件を満たす者
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者及び令和3年3月までに同要件を満たす者
- (7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和3年3月までに同要件を満たす者
- (8) その他専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2 選抜の実施方法

入学者の選抜は、学力検査（数学、専門科目、英語（TOEIC スコアによる換算）、面接及び出願書類の内容を総合して判定します。

学力検査、面接検査の配点は次のとおりです。

学 力 検 査		面 接 検 査	
数 学	100点	面接委員 3名	各委員 5点
専門科目	200点		
英 語	100点		
合 計	400点	合 計	30点（各委員の合計点×2倍）

- (1) 学力検査の「英語」については、TOEIC スコアによる換算を行い、当日の学力検査は行いません。

①対象となる試験

対象となる試験は、TOEIC 公開テスト又は TOEIC IP（カレッジ TOEIC）テストです。

②有効期間

2018年11月17日以降に実施されたスコアのみ有効です。

③英語学力検査点の換算式

TOEIC スコアを以下の式で英語の学力検査点に換算します。なお、小数点以下は四捨五入するものとし、換算点が0点以下の場合は0点、100点以上の場合は100点として取り扱います。

換算式： 英語学力検査点（100点満点）＝（TOEIC スコア）× 0.2 － 10

(2) 学力検査の検査科目等

日 程	検査科目等	時 間
令和2年12月12日(土)	数 学	9:30~10:30 (60分)
	専門科目	10:45~12:15 (90分)
	面 接	13:15~

※ 受検上の注意事項

- ・検査当日は、午前9時00分までに集合してください。
- ・受検票を持参してください。

(3) 検査科目の出題分野等

検査科目等	出 題 分 野 等		備 考
数 学	各専攻共通	基礎数学、微分積分、線形代数	
専門科目	生産システム工学専攻	機械工学基礎（熱力学、流体力学、工業力学、材料力学）又は電気電子工学基礎（電磁気学、電気回路、電子回路）から1科目を出願時に選択	関数電卓（プログラム機能が付いていないもの）を持参してください。
	物質工学専攻	基礎化学（化学結合、中和、酸化還元、物質の状態変化、溶液の性質、有機化合物の基礎、反応速度と平衡）	
	建築学専攻	建築計画・構造（建築計画学、建築構造学、建築環境学）	

面 接	<p>専攻ごとに実施します。</p> <p>※ 建築学専攻に志願する者は、自身が作製した設計製図図面を面接時に2点持参してください。</p> <p>なお、持参する図面の大きさは特に制限しません。また、手描き、CAD等は自由とします。</p>
-----	--

(4) 検査場所 米子工業高等専門学校（鳥取県米子市彦名町4448）

3 出願手続

(1) 受付期間 令和2年11月12日（木）から11月17日（火）まで（土日は除く）
午前9時から午後5時まで

※ 郵送の場合も、11月17日（火）午後5時必着とします。

(2) 受付場所 米子工業高等専門学校 学生課
〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448

(3) 出願書類等
志願者は、次の書類等を整え、提出してください。

出願書類等	摘 要
① 入学願書	本校所定の用紙に、必要事項を記入したもの
② 受検票	本校所定の用紙に、必要事項を記入したもの
③ 写真票	本校所定の用紙に、必要事項を記入し、所定の位置に写真を貼付したもの
④ 振込受付証明書提出票	<p>入学検定料 16,500円</p> <p>振込受付期間 令和2年11月5日（木）～令和2年11月17日（火）</p> <p>銀行からの振込みの場合</p> <p>・本校所定の入学検定料振込依頼書により、志願者本人の名義で金融機関（銀行）の窓口から振り込んでください。ATM（現金自動預払機）からの振込</p>

	<p>みはしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 取扱金融機関収納印を押した振込受付証明書を必ず受け取り、振込受付証明書提出票の所定の位置に貼り付けてください。 <p>郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込みの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込みは、口座からのみ可能で現金による振込みは出来ません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』が必要です。 A T M（現金自動預払機）からの振込みはしないでください。 ゆうちょ銀行からの振込みは、募集要項に添付されている本校所定の振込依頼書を使用することは出来ません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、志願者本人の名義で次のとおり振り込んでください。 金融機関名： 山陰合同銀行 米子支店 預金種目： 普通 口座番号： 3658000 受取人フリガナ： ドク) コクリツコウトウセンモンガッコウキコウ ホンブスイトウメイレイヤクジムキョクチョウ 受取人なまえ： 独立行政法人国立高等専門学校機構本部 出納命令役事務局長 振込後は「振込依頼書（お客さま控）」を受領し、原本を振込受付証明書提出票の所定の位置に貼り付けてください。（お客さま控えが必要な場合は、コピーをお手元に保管ください。） <p>※いずれの振込みも、振込時に必要な手数料は志願者本人の負担となります。</p> <p>検定料の免除について</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に、災害救助法の適用を受ける災害に被災し、居住する家屋が被害を受けた場合に、申請により検定料の免除を行える場合があります。該当される方は、検定料を振込む前に学生課（Tel0859-24-5021）までお問い合わせください。
⑤ 調査書	本校所定の用紙により、在学又は出身学校長が作成したもの
⑥ 志願調査書	本校所定の用紙により作成したもの
⑦ 卒業証明書又は卒業見込証明書	出身（在籍する）学校長の発行したもの
⑧ TOEIC スコアを証明する書類	2018年11月17日以降に実施されたものに限る。 TOEIC 公開テストの場合には「公式認定証」を、TOEIC IP（カレッジTOEIC）テストの場合には「個人成績表の原本」を提出してください。 なお、書類は検査当日に返却します。
⑨ 受検票の返信用封筒	受検票の郵送を希望する場合に、各自で準備して提出してください。 提出する返信用封筒は、定型封筒（長形3号）に郵便番号及びあて名を記入し、374円（速達料を含む）の切手を貼ってください。

出願上の留意事項

- ア 郵送での出願は、必ず「書留郵便」とし、封筒の表に「出願書類在中」と朱書きしてください。
- イ 出願書類で必要事項の未記入など、不備なものは受け付けません。記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を二重線で抹消し、押印のうえ、訂正事項を記入してください。
- ウ 願書提出後は、受理した出願書類は返還しません。
- エ 出願書類の記載事項と相違の事実が判明した場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- オ 受理した検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- (1) 検定料を払い込んだが、出願しなかった
 - (2) 検定料を誤って二重に振り込んだ

※ 返還請求手続は、令和2年12月1日（火）までに次の方法で行ってください。

返還請求の方法

- ① 還請求の理由、②氏名（ふりがな）、③現住所、④連絡先電話番号、⑤返還先の口座の金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義（フリガナ）を明記した検定料返還請求願（様式は問わない）を作成し、必ず振込金領収書を添付して、次の送付先に速やかに郵送してください。返還には、検定料返還請求願を受理した後、約2～3ヶ月程度の期間を要します。なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担となります。

送付先 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町 4448
米子工業高等専門学校 総務課財務係

4 受検上及び修学上特別な配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

障がいがある者等、受検上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、令和2年11月2日（月）までに「事前相談について」（添付の様式参照）を、米子工業高等専門学校学生課へ提出し、相談してください。

なお、本校が必要と認める場合には、本校において、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

5 合格者の発表

令和2年12月18日（金）午前10時に、合格者の受検番号を本校で掲示発表するとともに、合格者に合格通知書を送付します。（電話等による合否の問い合わせには応じません。）

また、合格発表の日から1週間、本校ホームページ（<https://www.yonago-k.ac.jp/>）にも、合格者の受検番号を掲載します。

6 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書（合格通知に同封します）」を次のとおり提出してください。なお、期限までに提出しない者は、本校への入学の意志がない者として取り扱います。

提出期限	令和2年12月25日（金）（郵送の場合も期限までに必着とします。）
提出場所	米子工業高等専門学校 学生課 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町 4448

VI 社会人特別選抜

1 出願資格

企業等に在職する者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち大学に編入学することができる者
- (4) 外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) その他専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2 選抜の実施方法

入学者の選抜は、面接検査及び出願書類の内容を総合して判定します。

面接検査	(1) 日 時 令和2年12月12日(土) 午後1時15分から (2) 場 所 米子工業高等専門学校 (鳥取県米子市彦名町4448)
------	---

※ 受検上の注意事項

- ・検査当日は、午後0時45分までに集合してください。
- ・受検票を持参してください。

3 出願手続

- (1) 受付期間 令和2年11月12日(木)から11月17日(火)まで(土日は除く)
午前9時から午後5時まで
※ 郵送の場合も、11月17日(火)午後5時必着とします。
- (2) 受付場所 米子工業高等専門学校 学生課
〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448
- (3) 出願書類等
志願者は、次の書類等を整え、提出してください。

出願書類等	摘 要
① 入学願書	本校所定の用紙に、必要事項を記入したもの
② 受検票	本校所定の用紙に、必要事項を記入したもの
③ 写真票	本校所定の用紙に、必要事項を記入し、所定の位置に写真を貼付したもの
④ 振込受付証明書提出票	<p>入学検定料 16,500円 振込受付期間 令和2年11月5日(木)～令和2年11月17日(火)</p> <p>銀行からの振込みの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校所定の入学検定料振込依頼書により、志願者本人の名義で金融機関(銀行)の窓口から振り込んでください。ATM(現金自動預払機)からの振込みはしないでください。 ・取扱金融機関収納印を押した振込受付証明書を必ず受け取り、振込受付証明書提出票の所定の位置に貼り付けてください。 <p>郵便局(ゆうちょ銀行)からの振込みの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込みは、口座からのみ可能で現金による振込みは出来ません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』が必要です。 ・ATM(現金自動預払機)からの振込みはしないでください。 ・ゆうちょ銀行からの振込みは、募集要項に添付されている本校所定の振込依頼書を使用することは出来ません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、志願者本人の名義で次のとおり振り込んでください。 <p style="margin-left: 20px;">金融機関名： 山陰合同銀行 米子支店 預金種目： 普通 口座番号： 3658000 受取人フリガナ： ドク)コクリツコウトウセンモンガッコウキコウ ホンブスイトウメイレイヤクジムキョクチョウ 受取人なまえ： 独立行政法人国立高等専門学校機構本部 出納命令役事務局長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振込後は「振込依頼書(お客さま控)」を受領し、原本を振込受付証明書提

	<p>出票の所定の位置に貼り付けてください。(お客さま控えが必要な場合は、コピーをお手元に保管ください。)</p> <p>※いずれの振込みも、振込時に必要な手数料は志願者本人の負担となります。</p> <p>検定料の免除について</p> <p>・令和2年度に、災害救助法の適用を受ける災害に被災し、居住する家屋が被害を受けた場合に、申請により検定料の免除を行える場合があります。該当される方は、検定料を振込む前に学生課(Tel.0859-24-5021)までお問い合わせください。</p>
⑤ 志願調査書	本校所定の用紙により作成したもの
⑥ 成績証明書	出身学校長の発行したもの
⑦ 卒業証明書	出身学校長の発行したもの
⑧ 出願承諾書	本校所定の用紙により、在職する企業等の長が作成したもの
⑨ 受検票の返信用封筒	<p>受検票の郵送を希望する場合に、各自で準備して提出してください。</p> <p>提出する返信用封筒は、定型封筒(長形3号)に郵便番号及びあて名を記入し、374円(速達料を含む)の切手を貼ってください。</p>

出願上の留意事項

- ア 郵送での出願は、必ず「書留郵便」とし、封筒の表に「出願書類在中」と朱書きしてください。
- イ 出願書類で必要事項の未記入など不備なものは受け付けません。記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を二重線で抹消し、押印のうえ、訂正事項を記入してください。
- ウ 願書提出後は、受理した出願書類は返還しません。
- エ 出願書類の記載事項と相違の事実が判明した場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- オ 受理した検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- (1) 検定料を払い込んだが、出願しなかった
- (2) 検定料を誤って二重に振り込んだ

※ 返還請求手続は、令和2年12月1日(火)までに次の方法で行ってください。

返還請求の方法

- ① 返還請求の理由、②氏名(ふりがな)、③現住所、④連絡先電話番号、⑤返還先の口座の金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義(フリガナ)を明記した検定料返還請求願(様式は問わない)を作成し、必ず振込金領収書を添付して、次の送付先に速やかに郵送してください。返還には、検定料返還請求願を受理した後、約2～3ヶ月程度の期間を要します。なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担となります。

送付先 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町 4448
米子工業高等専門学校 総務課財務係

4 受検上及び修学上特別な配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

障がいがある者等、受検上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、令和2年11月2日(月)までに「事前相談について」(添付の様式参照)を、米子工業高等専門学校学生課へ提出し、相談してください。

なお、本校が必要と認める場合には、本校において、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

5 合格者の発表

令和2年12月18日（金）午前10時に、合格者の受検番号を本校で掲示発表するとともに、合格者に合格通知書を送付します。（電話等による合否の問い合わせには応じません。）

また、合格発表の日から1週間、本校ホームページ（<https://www.yonago-k.ac.jp/>）にも、合格者の受検番号を掲載します。

6 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書（合格通知に同封します）」を次のとおり提出してください。なお、期限までに提出しない者は、本校への入学の意志がない者として取り扱います。

提出期限	令和2年12月25日（金）（郵送の場合も期限までに必着とします。）
提出場所	米子工業高等専門学校 学生課 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町 4448

Ⅶ 個人情報保護について

入学志願者から提出された入学願書及び調査書等に記載されている情報並びに選抜に用いた成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料・授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

入学案内

I 専攻科概要

本専攻科は、高専の卒業生を主たる対象とし、これにリフレッシュ・リカレント教育を希望する企業派遣の社会人学生及び海外からの留学生を加えて、生産システム工学専攻、物質工学専攻、建築学専攻の3専攻を設け、それぞれの専攻を通してより高度な専門学術を教授しています。また、教養教育及び実践的教育を通じて、幅広い教養と優れた人格を備えた広く産業の発展に寄与することのできる自立した技術者の養成を行っています。

すなわち、本専攻科の育成すべき技術者像は、高専制度の特徴である早期専門教育や実験・実習などの実践的教育に基づいた豊かな創造力と卓越した研究開発能力及び問題解決能力を備えた実践的開発型技術者であり、かつ少数人数教育の特長を活かして、地球的視点からの歴史・文化や環境・資源に対する理解と国際的に通用するコミュニケーション能力を持ち地域社会及び国際社会への貢献ができる技術者です。

さらに、国際的に通用する高度な実践的技術者を養成するために、各専攻における専門性の高度化と融合複合領域分野の充実拡大を図るとともに、幅広い教養とコミュニケーション力にも重点をおき、技術者資格の国際化への対応を踏まえ、日本技術者教育認定機構（J A B E E）の定義する共通基準にも対応できるように教育課程を編成しています。

なお、本専攻科で所定の単位を修得し、一定の要件を満たした者に対しては、(独)大学改革支援・学位授与機構から学士(工学)の学位が授与されます。

修了生の進路は、企業への就職はもちろんのこと、大学院に進学して研究者となる道も拓けており、修了生は、広く世の中で活躍し高い評価を得ています。

1 専攻科の目的

専攻科は、高等専門学校における教育の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門的知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する創造性豊かな人材を育成することを目的とする。

2 本校の教育目標

(1) 教育理念

我が国の将来を担うものづくりの基盤技術を支える創造性に富んだ技術者を養成するため、地域社会と連携し、実験・実習を重視した実践的な技術教育を行う。

(2) 養成すべき人材像

本校では、この教育理念に基づき、次のような人材を養成することを目標にしています。

- ① 豊かな感性と高い倫理観に裏打ちされた幅広い教養を持つ人材
- ② 専門的知識と技術を活用して、実践的なものづくりを行える人材
- ③ 主体的に問題を発見し、それを解決していく能力を有する人材
- ④ 環境保全も視野に入れて国際的に活動するとともに、地域への貢献が果たせる人材
- ⑤ 幅広い工学知識を複合させ、活用できる人材

(3) 学習・教育目標

本校では、上記の人材を養成するため、学生が身につけるべき能力として次の学習・教育目標を定めています。

- A 技術者としての基礎力
- B 持てる知識を使う応用力
- C 社会と自らを高める発展力
- D 地球の一員としての倫理力
- E 社会とかわるためのコミュニケーション力

(4) 専攻ごとの教育目標

・生産システム工学専攻

生産システム工学専攻は、本科で学んだ機械工学、電気情報工学、電子制御工学分野の基礎知識と技術を基に、他分野の幅広い知識を修得し、学際的な技術分野における問題解決能力を備えた実践的開発型技術者の養成を目標とする。

・物質工学専攻

物質工学専攻は、材料工学及び生物工学に関する基礎的な知識・技術と、それらを個別の問題に対して応用・発展させることのできる力を身につけ、幅広い視野に立って総合的な問題解決ができる実践的開発型技術者の養成を目標とする。

・建築学専攻

建築学専攻は、建築・都市・地域計画、建築環境及び建築構造に関する高度な知識と技術を身につけ、幅広い視野に立って問題解決できる創造力に富んだ実践的開発型技術者を養成することを目標とする。

(5) 米子高専専攻科のディプロマポリシー

米子高専専攻科では、所定の期間在学し、所属専攻において定める分野に関して所定の単位を修得し以下のような能力を身につけた学生に対して、修了を認定します。

専攻科修了者の達成目標

- ① 工学に関する様々な問題等を自ら発見することができる
- ② 発見した問題を解析し、自ら設定した行動計画の下で解決することができる
- ③ 専門的な英語の文献等を読み、理解することができる
- ④ 自らの専門知識・技術及び関連する分野の知識について、時代の進展に対応し、フォローアップすることができる
- ⑤ 持続可能な社会を念頭に置きながら、仕事その他の社会生活を送ることができる
- ⑥ 問題解決に向けて、チームの中で自己の意見を述べ、また他者の意見を聞きながら適切に作業を進めることができる
- ⑦ 専門分野の課題について報告書等を作成し、適切な資料を用いて関係者に分かりやすく説明することができる

・生産システム工学専攻・物質工学専攻

生産システム工学専攻及び物質工学専攻では、本科5年間で学んだ基本的知識と技術を基に、応用技術に関わる教育を行うとともに分野を横断した知識を修得することで、両専攻の共通の理念である「複合」と「システムデザイン」をキーワードとし、自らの深い専門知識と幅広い工学分野の知識を複合化して創造的なものづくりができる技術を身に付け、多面的な視野に立って総合的な問題解決ができる実践的開発型技術者を養成することを目的としています。

生産システム工学専攻及び物質工学専攻は共通のJABEE教育プログラム「複合システムデザイン工学プログラム」を開設しており、両専攻の修了者が修得すべき能力として米子高専専攻科修了者の学習・教育到達目標を以下のように具体化して示しています。なお、これらのうち(B-1)及び(B-2)については専攻科入学時には達成されていることを前提としています。

A. 技術者としての基礎力

- (A-1) 数学、自然科学に関連した基礎知識を修得し、それらを駆使して専門分野の解析、理解に活用することができる
- (A-2) 技術を支える文化・社会的背景や問題に関心を持ち、専門分野の技術と文化・社会との関わりを念頭において行動できる
- (A-3) 全ての工学分野の底辺を支える基盤となる幅広い基礎知識を修得し、それらを複

合的に駆使して様々な分野における現象の測定や解析、情報処理、設計・製造などに活用できる

(A-4) 機械・電気電子・物質工学などの各自の専門に関連した分野について、様々な技術的問題を解決するための基礎として必要とされる知識を修得する

B. 持てる知識を使う応用力

(B-1) 学習した専門基礎知識を体験的に理解し、それらを実証する方法の基礎を修得する

(B-2) グループまたは個人で研究課題に取り組み、解決すべき問題と課題を認識して、行動計画を立案実行できる。また、進捗に応じて計画を適宜修正しながら問題解決を行うことができる

(B-3) 身に付けた専門知識を活用し、種々の制約条件の下で創造的な問題解決を行うことができる

C. 社会と自らを高める発展力

(C-1) 研究の遂行や問題解決に必要な情報を自ら収集し、様々なツールを用いて分析・活用しながら研究等を進めることができる

(C-2) 異なる専門分野の技術者等と協働し、必要に応じて他分野の知識も応用しながらチームとして問題解決を行うことができる

D. 地球の一員としての倫理力

(D-1) 様々な工学分野における技術的視点から、工学理論の歴史、複合的先端技術への応用のための問題解決手法、情報セキュリティや安全性について修得し、それらを行動規範とすることができる

(D-2) 技術立国擁立に必要な不可欠な知的財産権などの社会背景や具体的な特許明細の書き方などを修得する

E. 社会とかかわるためのコミュニケーション力

(E-1) 専門的な英語の文献を読み、理解するとともに問題解決に必要な情報を取捨選択できる

(E-2) 問題解決に向けて、チームの中で自己の意見を述べ、また他者の意見を聞いてそれを理解し、自己及び他者が取るべき行動を判断し、適切に作業を進めることができる

(E-3) 専門分野の課題について報告書等を作成し、適切な資料を用いて関係者に分かりやすく説明することができる

・建築学専攻

建築学専攻では、建築を人間が社会生活を営む空間を創造する行為ととらえ、本科での5年間一貫したカリキュラムの特徴を活かしながら、更に2年間の専攻科での教育により、幅広い教養と豊かな人間性を備え、建築・都市・地域計画、建築環境及び建築構造に関する高度な知識と技術を身につけ、幅広い視野に立って問題解決できる実践的で創造力に富んだ技術者を養成することを目的としています。

建築学専攻はJABEE教育プログラム「建築学プログラム」を開設しており、建築学専攻の修了者が修得すべき能力として米子高専専攻科修了者の学習・教育到達目標を以下のように具体化して示しています。なお、これらのうち(A-2)(A-3)及び(A-4)については専攻科入学時には達成されていることを前提としています。

A. 技術者としての基礎力

(A-1) 数学、自然科学及び情報工学の基礎理論に裏打ちされた体系的な知識・技術

(A-2) 社会・環境に配慮して建築を計画・設計するために必要な基礎知識・技術

(A-3) 安全で合理的な建築の構造を計画・設計するために必要な基礎知識・技術

(A-4) 建築の生産と保存・再生及び防災を計画・管理するために必要な基礎知識・技術

B. 持てる知識を使う応用力

(B-1) 建築に関わる社会的・地域的な視点を養い、よりよい生活空間をその地域の風土を考慮し、機能的に計画・設計できる知識・技術

- (B-2) 建築の室内及び外部空間において、エネルギー負荷を考慮しつつ快適かつ適正な環境を保持するための環境要素の予測・評価・調整に関する知識・技術
- (B-3) 建築構造物の内外で安心して生活が営まれるよう、構造上安全かつ経済的な建築空間並びに構造種別・形式を選択できる知識・技術
- (B-4) 持続可能な社会を念頭におき、建築に関わる生産、保存再生、防災を意図した計画技術

C. 社会と自らを高める発展力

- (C-1) 建築分野の基礎的な知識や技術を活かし、問題を解決するための実践的な知識
- (C-2) 建築分野の基礎的な知識や技術を活かし、新たな提案を発する能力

D. 地球の一員としての倫理力

- (D-1) 日本や世界の文化や歴史を多面的に認識し、建築技術が社会に与える影響を理解する能力
- (D-2) 誠実かつ信頼される技術者としての誇りと責任感

E. 社会とかかわるためのコミュニケーション力

- (E-1) 専門的な英語の文献を読み、理解するとともに問題解決に必要な情報を取捨選択する能力
- (E-2) 問題解決に向けて、チームの協働作業の中で適切に解決策を提案する能力
- (E-3) 専門分野の課題について報告書等を作成し適切な資料を用いて分かりやすく説明する能力

(6) 米子高専専攻科のカリキュラムポリシー

各専攻において以下のような理念に基づいて科目群を開設し、ディプロマポリシーで掲げた能力を修得した学生が専攻科修了生となるように修了要件を設定しています。

・生産システム工学専攻・物質工学専攻

豊かな人間性を持ち、社会における技術の意義を洞察するとともに、技術による効果を地球規模の視点から判断できる自律した技術者となるための教養として人文社会、自然科学系の一般科目を専攻共通科目として開設しています。

専門共通科目として、英語によるコミュニケーション能力の育成、現代工学の基礎知識とその応用力の育成、さらに複合的・境界的領域分野にも対応できる分野・専攻横断型人材の育成などを目的とした講義・実験などの科目を開設しており、いずれも必修科目としています。

また、専攻毎の専門科目として、本科で修得した各分野において学士の学位を取得するのに十分かつ高度な専門知識を修得するための科目群を開設しています。

・建築学専攻

主として本科で履修した専門科目を基礎にしながら、少人数教育体制の下でより専門的な知識や能力を育成するカリキュラム構成としており、学習・教育到達目標の水準は学士（工学）にふさわしいレベルの専門知識や能力を保証するという観点から設定しています。

一般科目（教養科目）については大学レベルの教養を身につけることを目標としています。また、専門科目については、建築学を専門とする技術者の国家資格である一級建築士及び二級建築士に必要な知識・能力の修得を目指した水準とし、各科目の授業内容を設定しています。

これらの科目群に係る単位修得認定は主に定期試験によるものとしていますが、科目等によっては、レポート等の評価結果により認定します。各科目の成績評価の基準はシラバスによって公開しています。また、ディプロマポリシーの各項目と開設科目との詳細な関連は本校専攻科のホームページで公開しています。

II 専攻紹介

生産システム工学専攻

生産システム工学専攻では、機械工学、電気情報工学、電子制御工学分野の基本的知識と技術を基に、先端かつ独創的な生産システムの構築に不可欠な、超精密加工、情報ネットワーク、学習・適応制御、そして半導体エレクトロニクスなどの応用技術に深く関わる教育を行っています。特に、学際的な技術分野における問題解決能力を練磨し、創造的かつ柔軟な思考とそれに伴う実践力を兼ね備えた技術者の育成を主眼とし、さらに、豊かな人間性を育み、社会に貢献できる広い視野を持った創造的エンジニアの育成を心がけています。

物質工学専攻

物質工学専攻のカリキュラムは、本科物質工学科のカリキュラム同様、大きく分けて材料工学に関する科目群と生物工学に関する科目群の二つからなり、講義・演習・実験を通して学ぶことができるようになっています。この2大科目群は、さらに有機化学系科目、無機化学系科目、物理化学系科目、分析化学系科目、プロセス系科目、生物化学系科目および物質工学系科目の7つの系統に分かれます。すべての科目は本科で学んだ基礎知識の応用を目指したものであり、これらの学修を通して得た知識・技術を、専攻科の2年間をかけて行う特別研究に生かすことができるような構成となっています。

建築学専攻

建築学専攻では、建築を人間が社会生活を営む空間を創造する行為ととらえ、学科課程での5年間一貫したカリキュラムの特徴を活かしながら、さらに2年間の専攻での教育により、幅広い教養と豊かな人間性を備え、建築・都市・地域計画、建築環境及び建築構造に関する高度な知識と技術を身につけ、幅広い視野に立って問題解決できる実践的で創造力に富んだ技術者を養成することを目的としています。

III 教育プログラム

本校は、日本技術者教育認定機構（J A B E E : Japan Accreditation Board for Engineering Education）の基準に準拠した技術者教育を実施する「複合システムデザイン工学プログラム」と「建築学プログラム」を設けています。いずれの教育プログラムも、本科4、5年次及び専攻科1、2年次の教育課程から構成され、専攻科入学時点で、生産システム工学専攻及び物質工学専攻の入学者は「複合システムデザイン工学プログラム」の履修者、建築学専攻の入学者は「建築学プログラム」の履修者となります。

なお、他の高専・短期大学等を卒業した方についてはJ A B E Eの学習・教育到達目標の達成に必要な要件が満たされない場合には専攻科を2年間で修了できないことがあります。事前に相談を受け付けますので、詳しくは、学生課（TEL0859-24-5021）へお問い合わせください。

複合システムデザイン工学プログラム

機械工学科、電気情報工学科、電子制御工学科及び物質工学科の本科4学科と生産システム工学専攻及び物質工学専攻の2専攻では、工学（融合複合・新領域）関連分野のJ A B E Eプログラムを設けています。

(1) 育成しようとする技術者像

複合システムデザイン工学プログラムでは、生産システム工学専攻と物質工学専攻が共有する理念である「複合」と「システムデザイン」をキーワードとし、自らの深い専門知識と幅広い工学分野の知識を複合化して創造的なものづくりができる自立した技術者の育成を目指しています。

(2) 学習・教育到達目標

本プログラムの学習・教育到達目標は、専攻科のディプロマポリシーのうち、生産システ

ム工学専攻および物質工学専攻修了者が身につけるべき能力として掲げています。

建築学プログラム

建築学科及び建築学専攻では、建築技術者資格である建築士の受験資格の取得やUIA（国際建築家連合）基準に対応した大学院 J A B E E への継続性を考慮して、「建築学及び建築学関連分野」の J A B E E プログラムを設けています。

(1) 育成しようとする技術者像

建築学プログラムでは、建築学に関して高度な知識と技術を身につけ、幅広い視野に立って問題解決できる創造性豊かで自立した技術者の育成を目指しています。

(2) 学習・教育到達目標

本プログラムの学習・教育到達目標は、専攻科のディプロマポリシーのうち、建築学専攻修了者が身につけるべき能力として掲げています。

詳しくは、J A B E E のホームページ (URL: <https://jabee.org/>) または本校のホームページ J A B E E プログラム (URL: <https://www.yonago-k.ac.jp/jabee/>) をご覧ください。

IV 入学に伴う学費等

項 目		金 額	納 入 日
入 学 料		84,600円	入学時
授 業 料	前期分 (4～9月分)	117,300円	令和3年4月中
	後期分 (10～3月分)	117,300円	令和3年10月中

- 注 (1) 授業料は予定額であり、入学手続書類を送付する際に確定額を通知します。
(2) 在学中に授業料の改定を行った場合は、改定時から新授業料を適用します。
(3) 上記の他、教科書代、後援会費等が必要です。

V 奨学金制度

経済的理由により修学が困難な者については、日本学生支援機構等の奨学金制度（給付型及び貸与型の2種類）があります。

詳しくは、学生課学生係 (TEL0859-24-5023) へお問い合わせください。

VI 入学料・授業料免除制度

経済的理由により入学料・授業料の納付が困難な者については、免除制度があります。

入学料の免除の対象条件については、入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が、死亡した場合、又は入学する者若しくは学資負担者が、風水害等の災害を受けた場合や校長が相当と認める理由がある場合、もしくは、入学後4月に日本学生支援機構の給付奨学金に申請をする場合です。

詳しくは、学生課学生係 (TEL0859-24-5023) へお問い合わせください。

VII 学生寮

学生寮に入寮を希望する者は、本人の申請に基づき、選考のうえ入寮を許可することがあります。

主な必要経費は寄宿料として月 800 円、管理費として月 11,000 円、寮生会費として年 5,000

円、食費として月約 33,000 円程度の予定です。また、入寮時には入寮費として 3,000 円必要です。

施設としては、食堂・浴室・洗濯場等があり、そのほかに学習室・談話室・補食室・休養室及び集会室が設置されています。

居室は、1室1名で、各室ともベッド・学習机・椅子・本立・ロッカー及び衣装ケースが備え付けてあります。

詳しくは、学生課寮務係（Tel0859-24-5024）へお問い合わせください。